



2010年6月14日発表

テラパワーによる大胆なアプローチをクリーン・テクノロジーの投資家が支援へ

ワシントン州ベルビュー（2010年6月14日） — 新たな原子力エネルギーの開発を手がけるテラパワー（本社：ワシントン州ベルビュー）は、3,500万ドル超の2回目の資金調達を終了しました。今回テラパワーの投資家名簿に加わったのは、グリーン・ベンチャー・キャピタルとして著名なチャールズ・リバー・ベンチャーズとコースラ・ベンチャーズです。テラパワーには、インテレクチュアル・ベンチャーズの共同創業者ネイサン・ミアボルド氏や投資家ビル・ゲイツ氏などが投資を行っています。

チャールズ・リバー・ベンチャーズのパートナーであるイザー・アルモニー氏によると、原子力エネルギーは将来、二酸化炭素を排出しない数少ないベースロード電力源の1つとして重要な役割を果たすことが見込まれており、現在も30カ国で将来的な原子炉建設の検討が進められています。

「クリーン・エネルギーの未来の目標実現には、短期的な投資アプローチでは役に立たない」とアルモニー氏は述べ、「テラパワーは理想的な原子力エネルギー・システムのビジョンを示し、そのビジョンに感銘を受けた人々と、核廃棄物の負債を資産に変えるための原子炉設計の推進に必要な知識とを結集している。テラパワーの次世代原子炉 TWR (traveling-wave reactor) は原子力分野を大きく前進させる可能性のある実に革新的な設計である」と語りました。

ビノッド・コースラ氏はクリーン・テクノロジーにかかわるベンチャー・キャピタルの草分け的存在で、2004年に自身のベンチャー・キャピタルを設立しました。テラパワーに対するコースラ氏の投資は、将来的な原子力エネルギーの経済性が期待できることを意味します。

コースラ氏は、「テラパワーのチームは画期的なソリューションを見つけられる起業家精神溢れるアプローチを体現している」と言い、「21世紀に必要とされる重要技術に取り組むためには、この種の創意工夫が欠かせない。テラパワーの次世代原子炉 TWR は、まさにそうした創意工夫に溢れる画期的なソリューショントとなる可能性がある」と指摘しました。

テラパワーは、インテレクチュアル・ベンチャーズで開催された「発明セッション」（特定の課題や考えられるソリューションに的を絞って行う、多分野にわたる専門家が参加するブレインストーミング）で明らかにされた原子力エネルギーへの革新的アプローチを推進するために設立されました。

「研究開発にベンチャー・キャピタルの投資を呼び込めて嬉しい」とミアボルド氏は語り、「それは、真の発展に必要なものに市場が価値を見出していることを示している。今日の世界が直面している複雑な問題のソリューションを編み出すためにはどのようなコミットメントが必要か。これを知っている投資家の心に、テラパワーは訴えかけている」と述べました。

報道関係お問い合わせ

報道関係者さまのお問い合わせ先：TerraPowerInfo@intven.com

[テラパワー \(TerraPower\)](#)

テラパワーは、インテレクチュアル・ベンチャーズの発明セッションで考案された発明の推進を目的に、設立された最初の企業群の 1 社です。3 年前に設立されたテラパワーは、その専門知識で原子炉設計において前例のない進歩を成し遂げるのを可能としてきた、原子力工学、物理学、コンピューター・サイエンス分野の常勤専門家約 40 名および技術コンサルタント 75 名を擁するまでになりました。

[チャールズ・リバー・ベンチャーズ \(Charles River Ventures\)](#)

1970 年に設立されたチャールズ・リバー・ベンチャーズは、米国屈指の最も歴史のあるアーリーステージ・ベンチャー・キャピタルの一つで、運用資金は約 21 億ドルになります。チャールズ・リバー・ベンチャーズは、起業家の持つアイデアを技術やメディアの急成長分野における次世代のリーディング・カンパニーにする手助けをします。過去 20 年にわたり、チャールズ・リバー・ベンチャーズのファンドは業界トップクラスのパフォーマンスを誇っています。

[コースラ・ベンチャーズ \(Khosla Ventures\)](#)

コースラ・ベンチャーズは、起業家が技術革新を通して持続的な変化を提供する手助けをします。コースラ・ベンチャーズは、最も大きく広範な（太陽、原子力、風力、バイオ燃料などの）クリーン・テクノロジー分野のポートフォリオの 1 つならびに従来型技術分野の銘柄を保有しています。

[インテレクチュアル・ベンチャーズ \(Intellectual Ventures\)](#)

インテレクチュアル・ベンチャーズは、株式非公開のグローバルな知財投資企業として世界各地に拠点を置いています。2000 年に設立され、グローバルな知的財産権市場に資本、専門知識、ビジネス・モデルを供給することにより、新たな発明の機会を促進しています。インテレクチュアル・ベンチャーズは、自社での発明創出、外部からの発明購入、また世界中の発明家と提携することにより新たな発明を開発します。